

<はじめに>

北海道は全国と比べても少子高齢化のペースが速く、生産現場などでの労働者不足も生じており、そのギャップを埋めるように多くの技能実習生が来道している。また、近年はそうした技能実習生のとりまとめや、輸出あるいは海外進出といった海外ビジネスに携わる道内企業の本社あるいは海外進出先のマネージャーなどを担う人材として、「高度外国人材」への期待が高まっている。当レポートでは、各種統計や先行調査を参考にしながら、北海道における在留外国人について分析しつつ、そうした高度外国人材の受け入れ状況なども確認しながら、道内企業とのマッチングに向けた課題についても考える材料が提供できれば幸いである。

なお、当レポートでは高度外国人材について、外国人労働者のうち、①在留資格「高度専門職」と「専門的・技術的分野」に該当するもののうち、原則、「研究」、「技術・人文知識・国際業務」、「経営・管理」、「法律・会計業務」に該当するもの、②採用された場合、企業において、研究者やエンジニア等の専門職、海外進出等を担当する営業職、法務・会計等の専門職、経営に関わる役員や管理職等に従事するもの、③日本国内または海外の大学・大学院卒業同等程度の最終学歴を有している、とした場合に①～③を同時に同時に満たす人々をそのように見做すこととする。

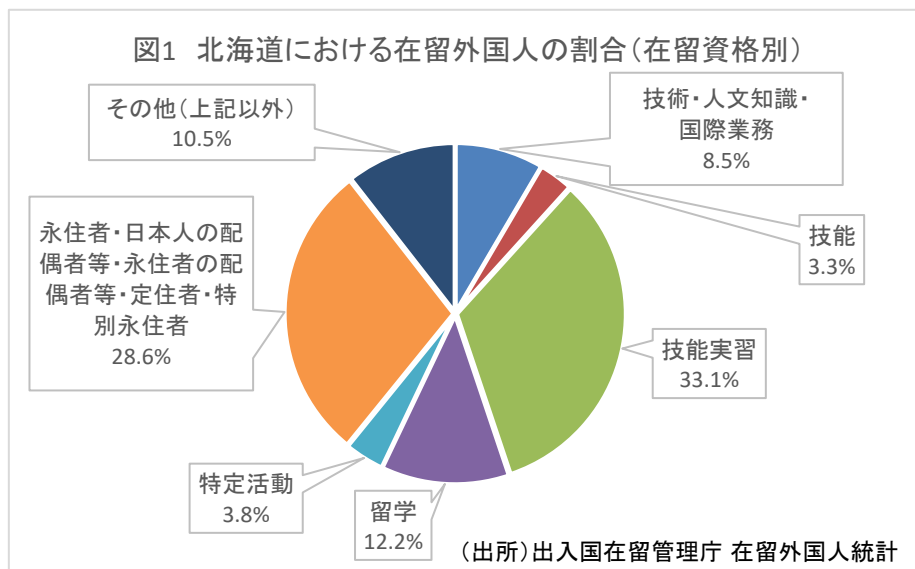
<統計にみる道内在留外国人の特徴>

出入国在留管理庁の在留外国人統計によると、2019年6月末時点の北海道における在留外国人数は37,906人となっている。内訳では、技能実習での在留外国人数が12,559人と最も多く、永住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等・定住者・特別永住者の合計を上回っている。なお、高度外国人材の在留資格となることが多い技術・人文知識・国際業務の在留資格を持つ外国人は3,204人となっている。

表1 北海道における在留外国人数(在留資格別、2019年6月末時点)

在留資格	在留外国人数
技術・人文知識・国際業務	3,204
技能	1,236
技能実習	12,559
留学	4,638
特定活動	1,429
永住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等・定住者・特別永住者	10,845
その他(上記以外)	3,995
総数	37,906

(出所) 出入国在留管理庁 在留外国人統計



2019年10月末時点の外国人雇用状況に関して厚生労働省北海道労働局が発表した資料によると、外国人労働者を雇用している事業所数は4,944か所(前年同期比602か所、13.9%増)で、外国人労働者数は24,387人(前年同期比3,361人、16.0%増)であった。国籍別で見るとベトナムが最も多く(8,225人、外国人労働者全体の33.7%)、次いで中国(香港等を含む、7,322人、30.0%)、次にフィリピン(1,606人、6.6%)という結果であった。ベトナムと中国の上位2か国を合わせると総数の3分の2近くを占めている。

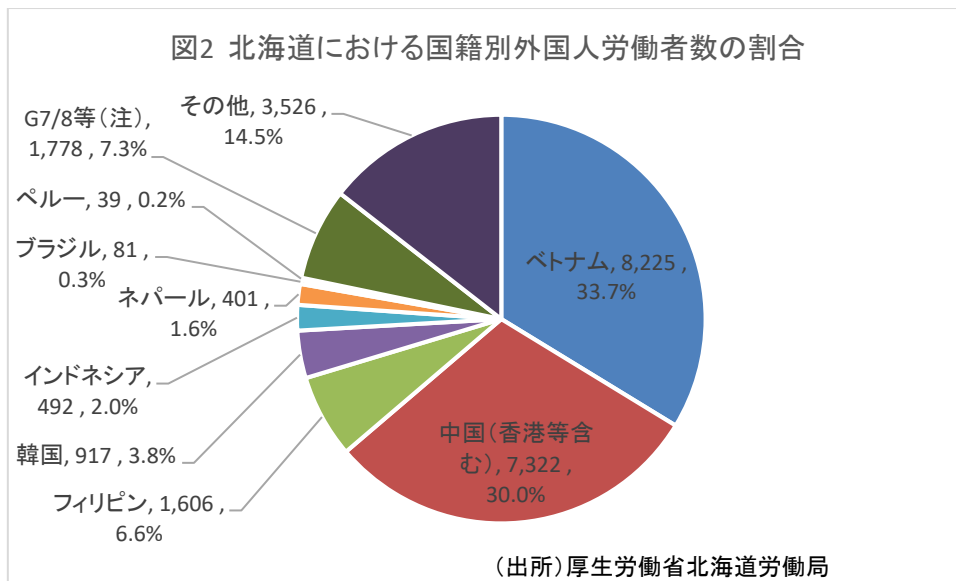
また同じ資料によると、産業別にみた場合に、外国人労働者を雇用する事業所数は、「農業、林業」が最も多く、全体に占める割合は20.8%であった。また、事業所に雇用される外国人労働者数は「製造業」で最も多く、全体に占める割合は28.7%となっている。

表2 北海道における国籍別外国人労働者数(2019年10月末時点)

国・地域名	外国人労働者数	割合
ベトナム	8,225	33.7%
中国(香港等含む)	7,322	30.0%
フィリピン	1,606	6.6%
韓国	917	3.8%
インドネシア	492	2.0%
ネパール	401	1.6%
ブラジル	81	0.3%
ペルー	39	0.2%
G7/8等(注)	1,778	7.3%
その他	3,526	14.5%
総数	24,387	100%

(注) G7/8等は、英国、米国、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ、ロシア、オーストラリア、ニュージーランドを表す。

(出所) 厚生労働省北海道労働局



北海道労働局は、在留資格別でみた外国人労働者数についても公表している。それによると、技能実習が半分以上を占め最大となっており、外国人労働力の中でおよそ半分となる12,946人は技能実習生であることがわかる。

続いて専門的・技術的分野の在留資格(注)が4,637人(総数の19.0%)、資格外活動が3,355人(13.8%)、身分に基づく在留資格が2,896人(11.9%)となっている。先にも触れた、高度外国人材の在留資格となることが多い技術・人文知識・国際業務の在留資格は、専門的・技術的分野の在留資格のカテゴリーに含まれている。また、留学生によるアルバイト等は資格外活動のカテゴリーに含まれている。

さらに、同局によれば、国籍別・在留資格別にみた場合に、ベトナムについては技能実習が87.3%、専門的・技術的分野の在留資格が6.7%、資格外活動が4.7%となっている。また、中国（香港等含む）についても技能実習が多く、その割合は48.9%となっている（詳細は同局外国人雇用状況の届出状況（令和元年10月末現在）別表1参照）。

また、同局の資料では、在留資格別・産業別に外国人労働者数をみたときに専門的・技術的分野の在留資格の割合が比較的高い産業として情報通信業（総数の49.5%）、宿泊業、飲食サービス業（37.7%）、教育、学習支援業（32.7%）、卸売業、小売業（20.9%）があることがわかるが、とりわけその中の技術・人文知識・国際業務の在留資格だけをみた場合に、その割合は情報通信業（総数の46.4%）、宿泊業、飲食サービス業（26.7%）、卸売業、小売業（20.1%）で高くなっており、こうした産業で高度外国人材の採用が進んでいることがわかる。

表3 北海道における在留資格別外国人労働者数

在留資格	外国人労働者数	割合
技能実習	12,946	53.1%
専門的・技術的分野の在留資格	4,637	19.0%
資格外活動	3,355	13.8%
身分に基づく在留資格	2,896	11.9%
特定活動	553	2.3%
総数	24,387	100%

（出所）厚生労働省北海道労働局

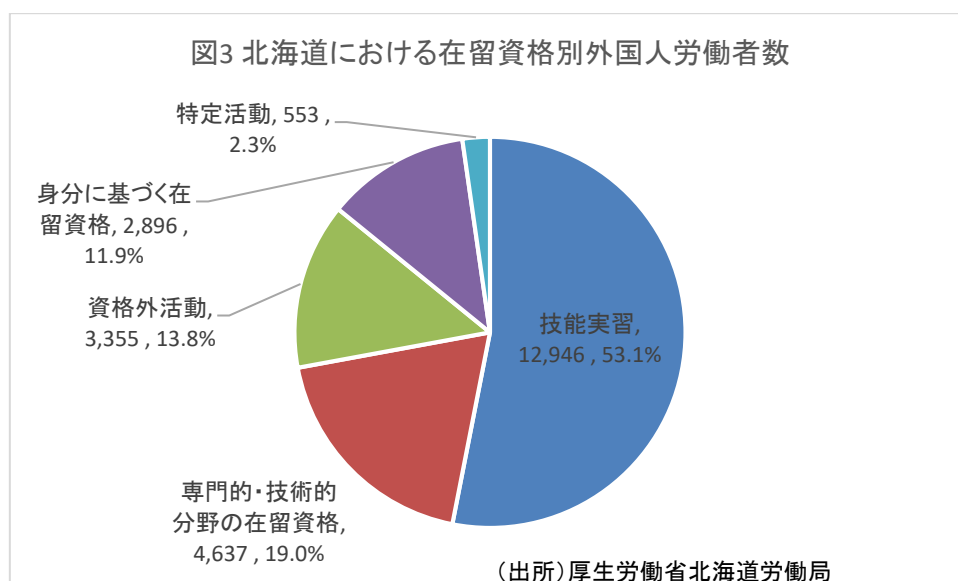


表4 北海道における在留資格別・産業別外国人労働者数

	全産業計	農業・ 林業	建設業	製造業	情報 通信業	卸売業、 小売業	宿泊業、 飲食サー ビス業	教育、 学習 支援業	医療、 福祉	サービ ス業 (注)
専門的・技術的 分野の在留資格	4,637	455	146	254	243	517	791	732	112	143
( )は対総数比	(19.0%)	(14.7%)	(6.8%)	(3.6%)	(49.5%)	(20.9%)	(37.7%)	(32.7%)	(24.0%)	(14.2%)
うち技術・人文 知識・国際 業務	2,752	139	114	221	228	496	559	106	33	129
( )は対総数比	(11.3%)	(4.5%)	(5.3%)	(3.2%)	(46.4%)	(20.1%)	(26.7%)	(4.7%)	(7.1%)	(12.8%)
特定活動	553	14	59	20	8	32	243	4	34	68
技能実習	12,946	2,535	1,834	6,264	1	609	154	1	100	184
資格外活動	3,355	27	7	98	157	862	588	982	59	275
身分に基づく在留 資格	2,896	56	109	373	82	449	321	518	162	340

(注)他に分類されないサービス業

(出所)厚生労働省北海道労働局

<道内の外国人留学生について>

日本学生支援機構 (JASSO) によれば、北海道内の留学生 (日本語教育機関に所属する学生含む) の数は 4,383 人で、全国に占める割合は 1.4% となっている。その中で、北海道大学の留学生受け入れ数は 2,223 人と、道内留学生全体の半数を超えており、北大は JASSO がまとめている「留学生受け入れ数の多い大学 (令和元年 5 月 1 日現在)」の 11 位にランクインしている。他方で、上位 30 校の中に入っている道内の大学は北大のみとなっている。

なお、高等教育機関における留学生受け入れ数については、北海道は 3,886 人で、全国に占める割合は 1.7% となっている。また、日本語教育機関における留学生受け入れ数については、北海道は 497 人で、全国に占める割合は 0.6% となっている。大学別の留学生受け入れ状況 (各大学ほか関連ウェブサイトからの公開情報) は表 4 のとおりとなっている。

表5 北海道における大学別留学生受け入れ状況の例(出所:各大学等ウェブサイト)

大学名	留学生数	備考
北海道大学	2,223	2019年5月時点
北海道文教大学	65	2019年5月時点
北海道教育大学	77	2017年5月時点
北海道情報大学	46	2019年9月時点
札幌大学	83	2019年5月時点
小樽商科大学	約50	ウェブサイト公開時点
帯広畜産大学	77	2018年5月時点
室蘭工業大学	215	2020年5月時点
北見工業大学	86	2019年5月時点
北海道科学大学	7	2018年5月時点
北海道医療大学	57	ウェブサイト公開時点(日本私立学校振興・共済事業団HP)
星槎道都大学	93	2020年5月時点
北翔大学	1	2020年度
旭川大学	37	2020年5月時点
札幌学院大学	35	ウェブサイト公開時点(日本私立学校振興・共済事業団HP)
札幌国際大学	160	2020年5月時点
総数	3,886	上記大学以外も含む

留学生の就職先について、例えば北大はウェブサイトにて平成30年度卒業・修了時の外国人留学生の進路状況について公表しているが、学士課程については卒業生数26名の中で国内での就職希望者数6名に対して5名が国内での就職を決めたとしている(国内での就職率83.3%)。これよりも多い8名が大学院に進学している。また、国内での就職を決めた5名のうち4名が道外での就職となっている(道内は1名のみ)。

一方、修士課程については、修了者数282名の中で、国内での就職希望者数85名に対して71名(修了者数の25.2%)が国内での就職を決めたとしている(就職率83.5%)。それよりも多い72名(25.5%)が更なる進学を選択し、88名(31.2%)が母国に帰国(就職、就職準備中、進学準備中、未定・不明に分類)となっている。国内で就職を決めた71名のうち道内で就職を決めたのは19名のみで、7割以上となる52名の就職先が道外となっている。つまり、北大の留学生の進路をみると、学士課程の状況も含め、進学志向が高いこと、就職では道外の割合が高いこと、母国への帰国者も修了者の3割を超え多いことがわかる。

札幌市が外国人留学生の傾向分析やニーズ把握などを目的に調査を行ってウェブサイトにて公表している「外国人留学生誘致検討調査業務事業報告書」によると、学業・研究分野における留学先としての北海道・札幌について、インドネシアや理系の中国の学生には理系分野(農学、環境科学など)に強い北海道大学の人気は高いが、学歴重視の韓国や中国では「北大ブランド」の効力は弱いと分析している。他方で、道内においては「本州と異なるまち並みやひと、自然の魅力」や「標準語に近い言語の優位性」がみられるため留学時の異文化体験先として魅力があるとしている。留学生の道内での就職を増やそうとするのであれば、そうした北海道や札幌あるいは北大の魅力が道内で提供される就職機会と見合っているかどうかを今一度確認しつつ改善に向け取り組む必要があるかも知れない。

表6 平成30年度卒業・修了 北海道大学外国人留学生進路状況

課程区分	進路区分	人数
大学 学士課程	【日本国内】就職(同一都道府県内)	1
	【日本国内】就職(同一都道府県外)	4
	【日本国内】本学(校)に進学	8
	【日本国内】大学(大学院を含む)・短大・高専進学(同一都道府県外)	4
	【日本国内】その他就職活動中	1
	【母国】その他 就職活動中	1
	【母国】その他 (未定・不明を含む)	6
	不明	1
学士課程:卒業者数26名,就職希望者数(国内)6名,就職者数(国内)5名,就職率(国内)83.3%		
大学院 修士課程	【日本国内】就職(同一都道府県内)	19
	【日本国内】就職(同一都道府県外)	52
	【日本国内】本学(校)に進学	72
	【日本国内】その他進学準備中	4
	【日本国内】大学(大学院を含む)・短大・高専進学(同一都道府県外)	6
	【日本国内】その他研究員(本学(校)以外で同一都道府県内)	1
	【日本国内】その他就職活動中	14
	【日本国内】その他(未定・不明を含む)	6
	【母国】就職	17
	【母国】その他 就職活動中	8
	【母国】その他 進学準備中	1
	【母国】その他 (未定・不明を含む)	62
	【日本国内・母国以外】進学	2
	【日本国内・母国以外】その他 進学準備中	1
不明	17	
修士課程:修了者数282名,就職希望者数(国内)85名,就職者数(国内)71名,就職率(国内)83.5%		
大学院 専門職学位課程 (法科大学院以外)	【日本国内】就職(同一都道府県内)	4
	【日本国内】就職(同一都道府県外)	3
	【日本国内】その他(未定・不明を含む)	2
	【母国】就職	2
	【母国】その他 就職活動中	1
	【母国】その他 (未定・不明を含む)	1
	不明	2
専門職学位課程:修了者数15名,就職希望者数(国内)7名,就職者数(国内)7名,就職率(国内)100%		
大学院 博士課程	【日本国内】就職(同一都道府県内)	14
	【日本国内】就職(同一都道府県外)	7
	【日本国内】本学(校)に進学	3
	【日本国内】その他研究員(本学(校)以外で同一都道府県内)	19
	【日本国内】その他研究員(本学(校)以外で同一都道府県外)	6
	【日本国内】その他就職活動中	4
	【日本国内】その他(未定・不明を含む)	6
	【母国】就職	27
	【母国】その他 就職活動中	10
	【母国】進学	1
	【母国】その他 研究員	7
	【母国】その他 (未定・不明を含む)	35
	【日本国内・母国以外】就職	2
	【日本国内・母国以外】その他研究員	2
不明	8	
博士課程:修了者数151名,就職希望者数(国内)25名,就職者数(国内)21名,就職率(国内)84.0%		

(出所)北海道大学ホームページ

#### <道内企業による高度外国人材採用の例>

道内企業による高度外国人材の採用事例について、経済産業省北海道経済産業局はウェブサイトで公表している「高度外国人材の活躍推進について」と題する資料の中で、3社の事例を挙げている。

プラスチックの素材・製品の販売及び製品の設計・加工・施工等を行う企業の例では、日本語が堪能なロシア人2名を採用しており、それぞれ本社の海外事業部とサハリン駐在事務所に勤務し活躍している。他方で、ブロックチェーンを主軸にIT先進技術を活用した事業に取り組む企業では、日本語能力よりも柔軟性や先進技術への強いモチベーション、あるいは新しい技術へ挑戦する姿勢を重視した採用方針をとり、フランス、台湾、ロシアなど様々な国・地域から技術者を採用し、年俸制や長期休暇の制度の導入も進める。大手電機メーカーを顧客に持ち、電子回路設計・ソフトウェア設計・機械設計を主に行う企業では、同社が採用した韓国人技術者は、韓国の大学で技術を学んでいるが、電子回路に関するプログラミング業務に従事し、同社の競争力の維持・強化に貢献している。

このほか経済産業省貿易経済協力局は、ウェブサイト上の「高度外国人材活躍企業50社」と題する資料の中で、道内企業2社（製造業1社、宿泊業1社）の事例を紹介している。

先進的な取り組みを行う札幌市本拠の会社（製造業）は、天然由来素材の研究・開発における世界各国の知見の活用や製品の海外販売の強化などを目的とし、1990年代から外国人研究職及び営業職を採用するとともに、主に道内の大学や研究機関との交流を通じて優秀な外国人材確保に努めている。また退職後も良好な関係性を維持しつつそのネットワークを活用しており、例えば本国へ戻った中国出身の元研究員の貢献により、同社の商品の輸入などを手がける合資会社が2005年に設立されて中国市場への本格参入を実現するなど、実ビジネスにもつながっている。

世界中からの誘客を目指し、中国や韓国はじめ多様な国籍の外国人材をリゾートスタッフとして採用する宿泊業の会社の事例では、2017年度の新卒採用33名中、16名が外国人となっている。同社はワーキングホリデーや海外インターン生の受け入れにも積極的で、採用プロセスを合理化したほか、イスラム教徒の外国人スタッフの礼拝のために休憩時間や勤務場所を配慮するなどした結果、同社に引き寄せられた多国籍の外国人材による顧客対応が外国人顧客の満足度上昇につながっている。

北海道庁も、「外国人採用事例集」（令和元年度地域活性化雇用創造プロジェクト 外国人材雇用促進事業委託業務）の中で外国人材の採用事例（6社）を紹介している。もともと母国で日本語を学んでいたロシア人材が、ビジネスをするうえでロシアとの関係が深い北海道での就職を選択し、商談通訳や貿易書類の翻訳あるいは電話・メールのやりとりといった業務で活躍しつつ、同社の受け入れ体制やロシア人同僚の存在にも恵まれ同社での定着に至っている水産会社の事例、マレーシアの高校卒業後に英国や北大での留学を経て採用された外国人社員が、日本語能力に苦勞しつつも、電子カルテシステムのリリース前のテスト業務やシステム修正補助などにも取り組んでいる事例などが紹介されている。



6社の事例をみると、自然の豊かさや環境の良さ、気候が合っている、街がきれいで、勉強していた日本語を生かしたい、という外国人材のニーズに対し、受入企業側も日本人・外国人とを分け隔てなく接し、働きやすい環境作りに努めるなどしてスムーズな受け入れを心掛けており、外国人材の活躍・定着につながっているという点で共通項がみられる。

#### <北海道におけるインターンシップ事業の活用事例>

2019年度にジェトロが株式会社パソナと共同で受託し実施した経済産業省国際化促進インターンシップ事業では、北海道では4社・団体が外国人インターン7名を受け入れた（全国では受入企業167社、受入インターン204名）。外国人インターン7名の国籍は、ベトナムが5名、インドネシアとマレーシアが各1名であり、ベトナムからのインターンの受け入れが突出し、北海道と同国とのつながりの深さを示すものとなった。業種は様々であり、受入先の所在地も札幌市のみにとどまらず、道内各地でのインターンシップ実施となった。

インターンを受け入れた企業の事例を紹介したい。2018年度にマレーシアからインターン1名を受け入れたIT関連企業は、近い将来、マレーシアに拠点を置いてIT技術者を定期的に採用していくという中長期の経営戦略を持っており、それに基づき、求職者へのアプローチ手段・媒体・広報などについて検討し、報告書を提出することをインターンへのミッションとした。インターンシップ終了時には、そうした成果物が同社の海外展開に向けた貴重な資産として残った。また、社員とインターン生が数か月を共に過ごしたことで、社内に将来の海外展開を待ち望む積極性が生まれると同時に、英語学習のモチベーションも生まれた（インターンシップ終了後、インターンはいったん帰国し、後日社員として採用された）。

ベトナムへの進出を目指してジェトロの専門家支援を受けるサービス関連企業は、2018・19年度と連続してベトナム人インターン2名を受け入れた。インターン受け入れの目的は、①社員に対してベトナム事業にかける経営者の本気度を示すこと、②外国人を同僚に持つことで業務をどう組み立てるかを考えさせることで社員の意識の変革を促すとともに、長年同じような業務に従事する社員への新たな刺激とすること、であった。インターンには、ベトナムでの事業展開時に必要となる業務マニュアル・指導マニュアルの翻訳をミッションとして与える一方、検定試験受験も視野に入れての合気道の稽古、幼稚園で子どもたちとマット運動を体験する、などの異文化体験プログラムも用意した。また、日本企業で業務をするうえで欠かせないと思われる日本の歴史や日本人のマナーを学ぶ、などことをカリキュラムに組み込んだ。逆に、インターンからも、同社社員に対する英会話のレッスンを組み入れた。同社は、インターンのモチベーション維持にも配慮しつつ、社員とのコミュニケーションを図り、社員のスキルアップも目指すなど、インターン・受入企業の双方に利益となるよう工夫をした。

同じくベトナムへの進出を目指してジェトロの専門家支援を受ける小売業界の企業は、ベトナム人材を活用するノウハウを得ることを目的に、2019年度にベトナムからのインターン1名を受け入れた。インターンは、業務マニュアルの翻訳に携わるほか、地元市民や地

元企業で働く教育実習生との交流を図ることを目的としたミッションも与えられ、ベトナム料理フェア開催などベトナム文化・情報発信を担った。短期間のインターンシップ期間に同社の地元および周辺地域からのベトナム人来店者数が増え、ベトナム食品のコーナーが新設されるなど、実ビジネスでも大きな成果を得ることができ、さらには同社の CSR 向上にもつながった。

表7 国際化促進インターンシップ事業でのインターン受け入れ実績(2019年度)

	業種	所在地	インターン国籍
1	小売業	根室市	ベトナム
2	建設業	留萌市	ベトナム
3			ベトナム
4	団体(経済)	帯広市	インドネシア
5			マレーシア
6	サービス業	札幌市	ベトナム
7			ベトナム

<今後の高度外国人材受け入れ拡大に向けて>

道内では、各種統計や企業による受入事例でもわかるように、情報通信業や宿泊業などで高度外国人材の受け入れが進んでおり、今後も北海道に備わる豊かな観光資源や需要地からの近接性を問わない ICT 分野において引き続き即戦力としての高度外国人材が求められよう。また、製造業や卸売・小売業などでも、輸出や海外での店舗開設といった海外ビジネスを行う際に語学力をいかした交渉役あるいは本社・海外拠点でのマネージャーとして高度外国人材が求められよう。

さらに、建設業や介護施設運営を行う福祉といった分野においても、インターンの受け入れや外国人材を採用する動きがみられ、今後高度外国人材の活躍が期待できる。このほか、大規模化が進んでいる農業の分野においても、JICA 北海道が行った「北海道における外国人材の現状・課題等に関する調査」(JICA 北海道がウェブサイトにて報告書を公開)で、「現在生き残っている農家は、経営能力・マーケティング力が非常に高いため、労働力が確保できれば大きく転換することも可能」と指摘するように、新たな農業のけん引役としても高度外国人材に活路を見出すことができるかも知れない。

ジェトロでは、高度外国人材活躍推進ポータルサイトを開設しており、高度外国人材の活用を目指す企業向けに、高度外国人材に向けて発信できるよう、自社情報の掲載が可能なページを設けているほか、高度外国人材の採用や定着に向けたコーディネーターによるアドバイスも行っている。また、オンラインでのインターンシップ(前掲)や合同企業説明会などの事業を通じて、高度外国人材と受け入れを希望する中堅・中小企業との引き合わせにも努めている。このほか、札幌商工会議所は同所の事業として「外国人材紹介事業者との交流会」を2019年10月に開催しており、以下の企業・団体が参加している。

表8 (2019年)10月15日交流会参加予定  
外国人材紹介事業者・監理団体 一覧

キャリアバンク(株)
(株)キャリア・フォース
国際研修事業協同組合
(公財)国際人材育成機構
さくらネットワーク・システム協同組合
札幌介護事業協同組合
中和石油(株)
(株)ヒト・コミュニケーションズ
リージョンズ(株)

(出所)札幌商工会議所ウェブサイト